

LIXIL

ギャラリー

Press  
Release

ガレリアセラミカ会場は“新鋭作家による新しいやきものの表現の場”として企画展を開催しています。

## 毛塚 友梨 展 陶 蒼い心

会期 = 2012年7月5日(木)~7月31日(火)

休廊日 = 日曜・祝日

開館時間 = 午前10:00~午後6:00

作家によるアーティスト・トーク開催 = 7月5日(木) 午後6:30~7:00

会場 = LIXIL ギャラリー ガレリアセラミカ

東京都中央区京橋3-6-18 LIXIL:GINZA2F TEL 03-5250-6530

入場無料

企画制作 = 株式会社 LIXIL

ホームページ <http://www1.lixil.co.jp/gallery/>



「愛-参 (紙袋)」紙袋サイズ H24×W21×D12cm 蛇口サイズ H11×W9×D25cm 2011

画像をご希望の方は、ホームページのプレスリリース(pdf)からダウンロードも可能です。  
その他の写真については、お問合せください。すべて本展告知以外での使用、転載を禁じます。

【メール】[e.ohashi@lixil.co.jp](mailto:e.ohashi@lixil.co.jp) 【担当】大橋恵美

### 同時開催予定

ギャラリー1『聖なる銀 アジアの装身具』展 6/7~8/25 日祝休  
ギャラリー2『藤井秀全』展(光インスタレーション) 7/2~7/26 日祝休

### 次回予告

セラミカの夏 器・オブジェ・小さな道具 展

ガレリアセラミカでは、毛塚 友梨(kezuka Yuri)展 陶 蒼い心 を開催します。(2012年7月5日～7月31日)

毛塚友梨の作品は、蒼い釉薬が印象的な陶によるインスタレーションです。

「愛 壺一伍」(2011)は、5つの容器に5つの蛇口から、それぞれに何か注ぎ込まれる場面がつけられています。注ぐのは水道の蛇口、水洗金具の壊れたもの、湯沸し器などで、受け入れるのは大きなバケツ、歪んだ鍋、牛乳パック、紙袋、割れた茶碗です。日用品をモチーフに選び、簡単には注ぎ込めない状況から、注ぎ口と受け皿を一筋縄ではいかない人間関係に喩えた作品です。

端正な造形と、陶器に置き換えられ、鮮やかな青色の釉薬で包まれた情景は、詩的で心ひかれる世界をつくり上げています。

毛塚は陶芸家の家に育ち、伝統的な陶芸を目指して東京芸術大学に学びましたが、いつしか身の回りの思い入れのあるモノたちをモチーフに作品を制作するようになりました。2009年の修了制作では、愛用の自転車を陶器で実物大につくり、長い髪をたなびかせて自転車を繰る自分の姿をその影として組み合わせた作品で、新しい世界へと羽ばたいて行く若者の心象風景を爽やかに表しました。

青い風景は幼少から好きだった水色、深い海のような群青色のイメージで、いつも毛塚の心を映してきました。毛塚にはこの他にも、古陶器を思わせる、灰釉や赤土を使った勉強机やバスルームをモチーフにした作品もあります。どの作品も土や釉薬の美しさ、豊かさなどやきものの表情も見どころです。

今展では、水道の蛇口とコップ、バケツ、ピン、割れた壺など8点の容器を組み合わせた新作インスタレーションを発表します。蒼が満々と湛えられたモノたちは、観る者をどのような世界に誘ってくれるでしょうか。どうぞ会場でご覧ください。

#### [毛塚友梨プロフィール]

1984 栃木県生まれ	(ワールドセラミックセンター 韓国)
2003 作新学院高等学校 卒業	2011 YOUNG ARTISTS JAPAN VOL.4 (ラフォーレミュージアム六本木)
2009 東京芸術大学美術学部 卒業	2012 SICF13(スパイラル 南青山)
主な展示	2012 Young Art Taipei(台湾 台北市)
2009 LandscapeXI展 (Pepper's Gallery 銀座)	2012 2nd International Ceramic Triennial UNICUM 2012 (スロヴェニア マリボル)
2010 SICF11(スパイラル)	
2010 杜窯会作陶展(日本橋三越本店)	受賞
2010 第19回 SOSABEOL 国際芸術シンポジウム(韓国)	2011 京畿世界陶磁ビエンナーレ国際公募展 入選
2011 土土土工展(TURNER GALLERY 1F)	2011 YOUNG ARTISTS JAPAN VOL.4 小暮ともこ賞、 石井信賞
2011 Blijven 展 (G671gallery 銀座)	2012 2nd International Ceramic Triennial UNICUM 入選
2011 杜窯会作陶展(日本橋三越本店)	
2011 京畿世界陶磁ビエンナーレ国際公募展	